



# 菊武学園フラッシュニュース

## 全日本選手権で優勝 名産大ウエイト 山本選手



(日本一に輝いた山本選手)

ウエイトリフティング全日本選手権が5月25日、岩手県奥州市で開かれ、名古屋産業大学大学院の山本真鼓選手が、女子64キロ級で、トータル213キロの日本タイ記録をマークし、優勝しました。3月の日本学生選



(男子3位の山門選手)

手権で出した記録を上回る好成績で、連覇を成し遂げました。

山本選手は、スナッチ95キロ、ジャーク118キロを出し、体調がいま一つのコンディションだったが、リオ五輪代表の松本潮霞選手らを抑えて、自己最高を達成しました。

「次はスナッチ、ジャークも含めて日本新記録を目標に頑張りたい」と喜びを話していました。男子81キロ級では、名古屋産業大学大学院の山門正宜選手が、スナッチ144キロ、ジャーク177キロ、トータル321キロで、3位に輝きました。

## 稲穂で「令和」を描く 田んぼアートに名産大生挑戦



名古屋産業大学の学生ら60余名が、真夏の暑さとなった5月26日、尾張旭市城山の田で、尾張旭市とJAあいち尾東が繰り広げた「田んぼアート」に協力して、田植え作業に汗を流しました。赤米、赤米、古米など4色の稲の苗を植えて、「令和」の文字と尾張旭市のイメージキャラクター「あさぴー」などを描きます。名古屋産業大学が創立20周年になるのを記念して、野球部、サッカー部、ウエイトリフティング

## 名産大院生や菊華高ダンス部 大活躍 天皇皇后両陛下ご臨席 全国植樹祭



(救護班で活躍する名古屋経営短大学生)



(テーマソングに合わせて踊る菊華高ダンス部)



尾張旭市の森林公園で、6月2日開かれた全国植樹祭で、菊華高校ダンス部員ら30名が、アトラクションとして祭りのテーマソングの踊りを、天皇皇后両陛下の前で披露し、大勢の参加者から温かい拍手が送られました。また、名古屋産業大学、名古屋経営短期大学の大学院生や学生計9名が、救護班のボランティアとして活躍しました。



菊華高校ダンス部の生徒らは、水の流れを表した白と水色のドレス姿で、いかだ役を務めた男子生徒2人も加わり、木曾の山から切られた木が、川を下って伊勢湾まで届き、大勢の人たちに役立った物語を熱心に踊っていました。



1年以上前から出演の依頼があり、何度も練習や合同リハーサルを重ねてきただけに、ダンス部主将の柳花音さんらは「とても貴重な経験ができました」と、無事演じ終えて喜んでいました。



また、名古屋産業大学大学院生の山門正宜さんら9名は、会場の特別招待者席とおもてなし広場の2か所で待機、体調の悪い人たちを救護室まで案内しました。植樹祭に特別招待された菊武学園の高木弘恵理事長と菊華高校の山岸鳴門校長は、式典の終了後、豊田市の第二会場「愛知県昭和の森」で、モミジなどの苗木を植えて、植樹祭に協力しました。



即位後、初の地方公務として全国植樹祭にご臨席された天皇皇后両陛下は、式典の後、食事のため城山公園の「スカイワードあさひ」に向かわれる際、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学前の城山街道をお通りになられました。沿道には大勢の市民らによる歓迎の列ができ、天皇皇后両陛下はにこやかに手を振られておられました。

部の部員らをはじめ菊華高校、菊武ビジネス専門学校の生徒も参加しました。7月上旬ごろから、絵柄が田に浮かび上がり、市民らを楽しませます。

菊武学園 エコキャップ回収活動  
累計 658 万個に達しました  
(2019・4・1 現在)